

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月7日

下関市長 殿

提出者

住 所 大阪市中央区久太郎町三丁目6番8号

氏 名 エナジーメイト株式会社

代表取締役 竹口英樹

電話番号 06-6241-6200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エナジーメイト株式会社 下関事業所
事業場の所在地	山口県下関市彦島迫町7丁目1番1号 下関三井化学構内
計画期間	令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	熱供給業(F3511)
② 事業の規模	資本金1億円
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	外部委託

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

大阪本社／技術部 → 下関事業所／所長
 → ミカド産業株式会社 → 野村興業株式会社
 → 池田興業株式会社 → 山口県環境保全事業団

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	がれき類
	排 出 量	1 5 5 5. 0 7 t	7 7 5. 7 9 t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	がれき類
	排 出 量	1 0 0 0 t	4 0 0 t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	個別にフレコン毎の収集を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
② 計画	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
② 計画	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)				
① 現状	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
② 計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	がれき類
	全処理委託量	1555.07 t	775.79 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
法令遵守及び監督官庁 都道府県 市町村の指示の徹底			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	燃え殻	がれき類
②計画	全処理委託量	1 0 0 0 t		4 0 0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)				
電子マニフェスト導入の拡大				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

7年 5月 7日

下関市長 殿

提出者

住 所 大阪市中央区久太郎町三丁目6番8号

氏 名 エナジーメイト株式会社

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

代表取締役 竹口 英樹

電話番号 06-6241-6200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エナジーメイト株式会社 下関事業所
事業場の所在地	山口県下関市彦島迫町7丁目1番1号 下関三井化学構内
事業の種類	熱供給業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1400 t	全処理委託量	1400 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和6年度実績)

多量排出事業者名	エナジーメイト株式会社 下関事業所	所在地(市町名)	下関市	事業の種類	熱供給業
----------	-------------------	----------	-----	-------	------

別紙1-3

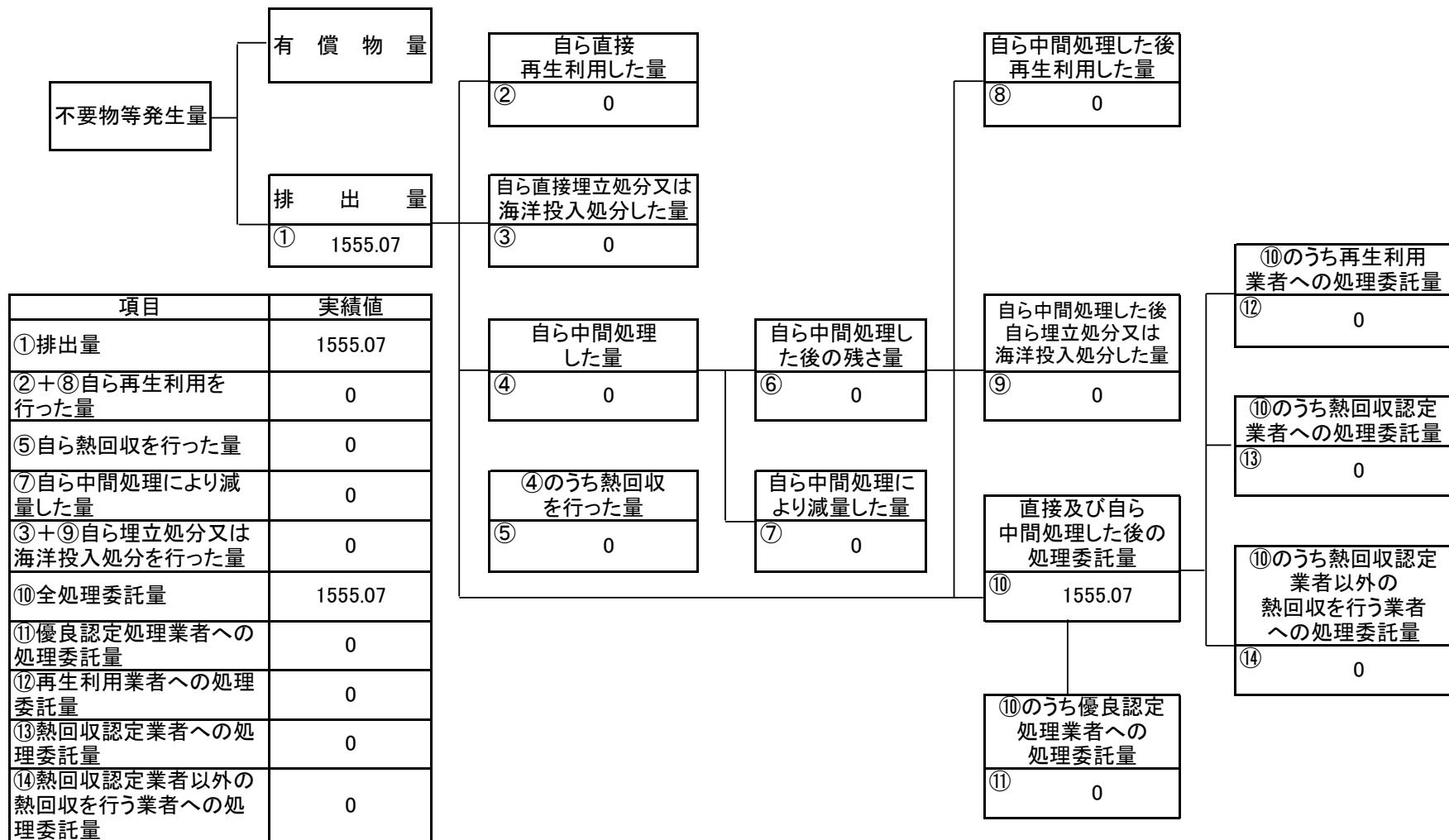
区分	種類	計画の実施状況																						
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接処理立会又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤(うち熱回収を行った量)	⑥自ら中間処理に利用した量	⑦自ら中間処理した後、再生利用した量	⑧自ら中間処理した後、再生利用立会又は海洋投入処分した量	⑨直達委託及び自ら中間処理した後、再生利用立会又は海洋投入処分した量	⑩(うち最終処理業者への処理委託量)	⑪(うち最終処理業者への処理委託量)	⑫(うち最終処理業者への処理委託量)	⑬(うち最終処理業者への処理委託量)	⑭(うち最終処理業者への処理委託量)	⑮(うち最終処理業者への処理委託量)	⑯(うち最終処理業者への処理委託量)	⑰(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	
産業廃棄物	燃え灰	1,555								1,555	0	0	0	1,555	1,555	0	0	0	0	0	0	0	0	
	汚泥									0	0	0	0	0	0									
	廃油									0	0	0	0	0	0									
	廃酸									0	0	0	0	0	0									
	廃アルカリ									0	0	0	0	0	0									
	廃プラスチック類	2								2	0	0	0	2	2									
	紙くず									0	0	0	0	0	0									
	木くず	3								3	0	0	0	3	3									
	繊維くず									0	0	0	0	0	0									
	動植物性残さ									0	0	0	0	0	0									
	動物系固形不要物									0	0	0	0	0	0									
	ゴムくず									0	0	0	0	0	0									
	金属くず									0	0	0	0	0	0									
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず									0	0	0	0	0	0									
	錫さい									0	0	0	0	0	0									
	がれき類	776								776	0	0	0	776	776									
	動物のふん尿									0	0	0	0	0	0									
	動物の死体									0	0	0	0	0	0									
	ぱいじん									0	0	0	0	0	0									
	13号廃棄物									0	0	0	0	0	0									
	計(A)	2,337	0	0	0	0	0	0	0	2,337	0	0	0	0	0	2,337	2,337	0	0	0	0	0	0	0

区分	種類	実績																						
		①排出量	②+③自ら直接再生利用を行った量	④自ら熱回収を行った量	⑤自ら中間処理に利用した量	⑥自ら中間処理した後、再生利用立会又は海洋投入処分した量	⑦直達委託及び自ら中間処理した後、再生利用立会又は海洋投入処分した量	⑧(うち最終処理業者への処理委託量)	⑨(うち最終処理業者への処理委託量)	⑩(うち最終処理業者への処理委託量)	⑪(うち最終処理業者への処理委託量)	⑫(うち最終処理業者への処理委託量)	⑬(うち最終処理業者への処理委託量)	⑭(うち最終処理業者への処理委託量)	⑮(うち最終処理業者への処理委託量)	⑯(うち最終処理業者への処理委託量)	⑰(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	㉑(うち最終処理業者への処理委託量)	
産業廃棄物	燃え灰	1,555	0	0	0	0	0	0	0	1,555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紙くず	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属くず	0	0																					

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 燃え殻)

)



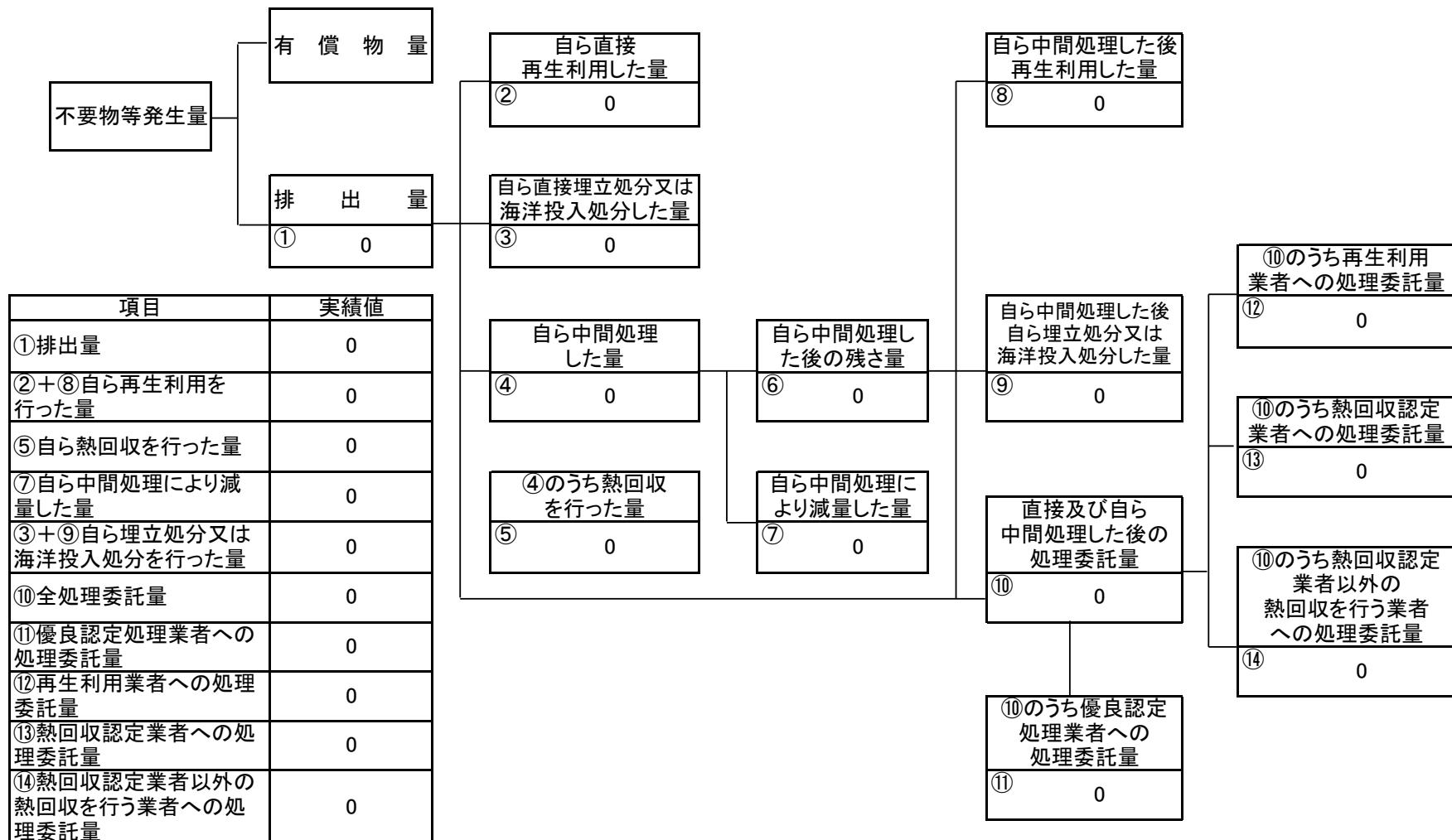
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

)

(第2面)

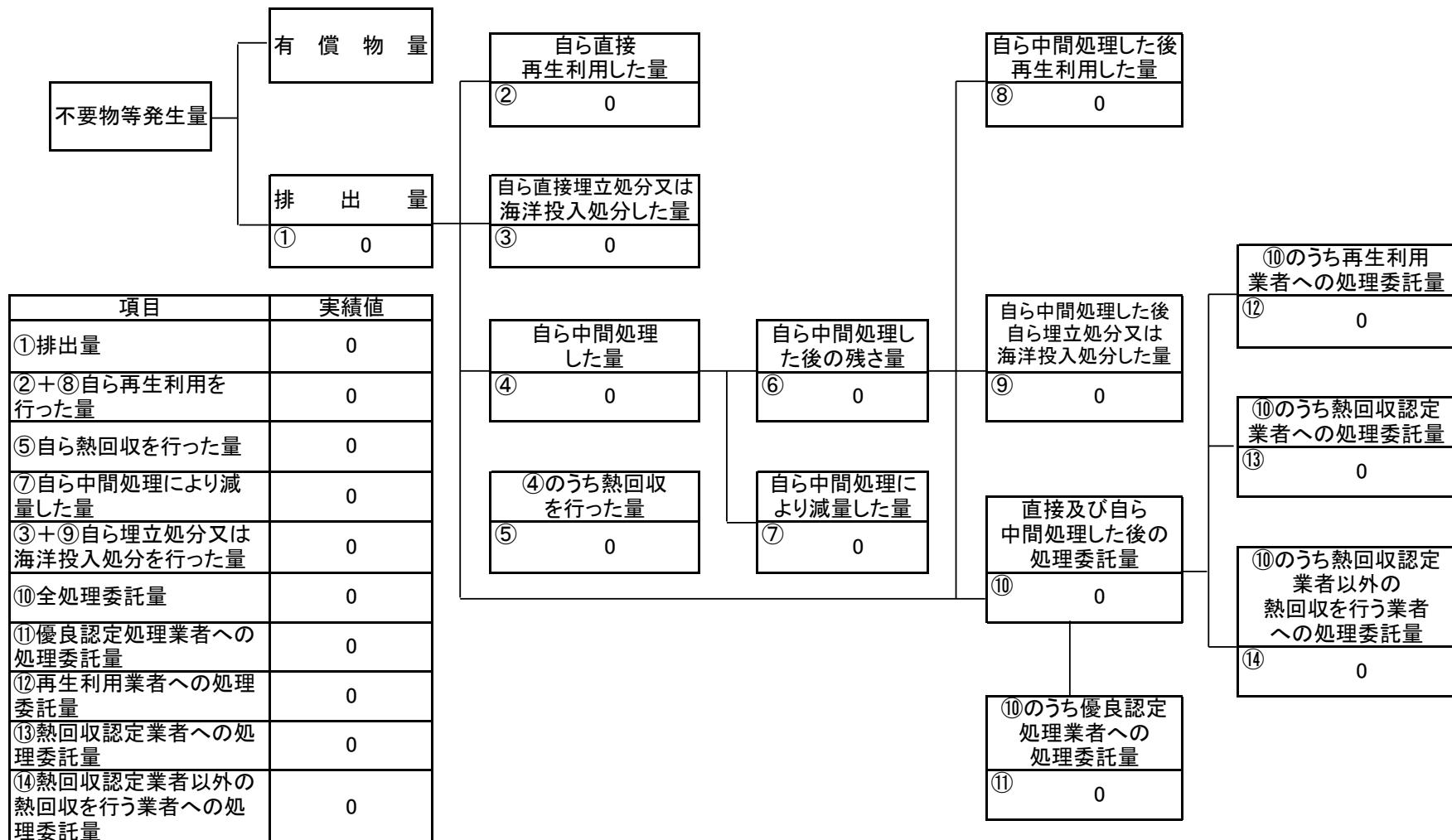


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

)

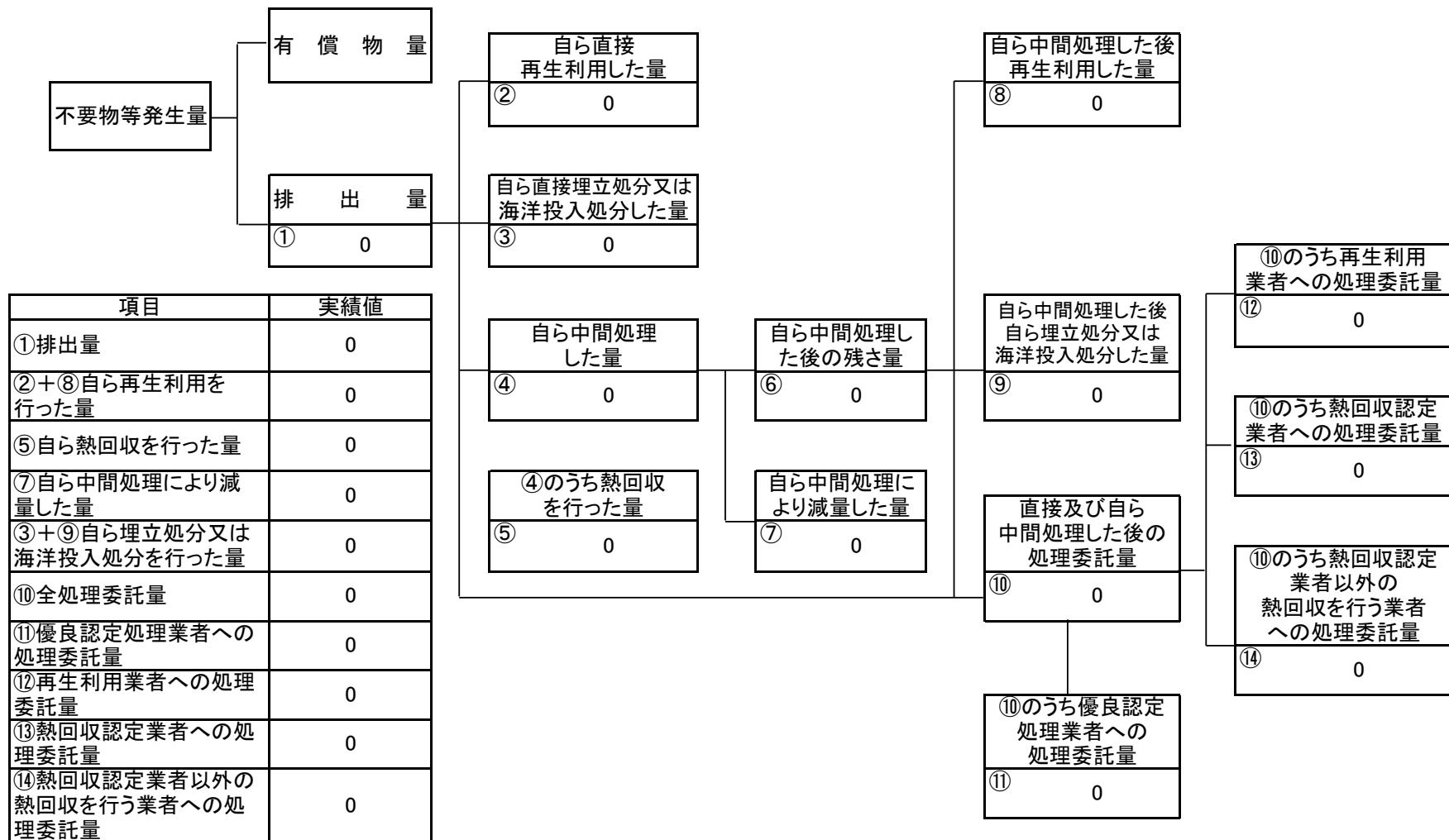
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

)



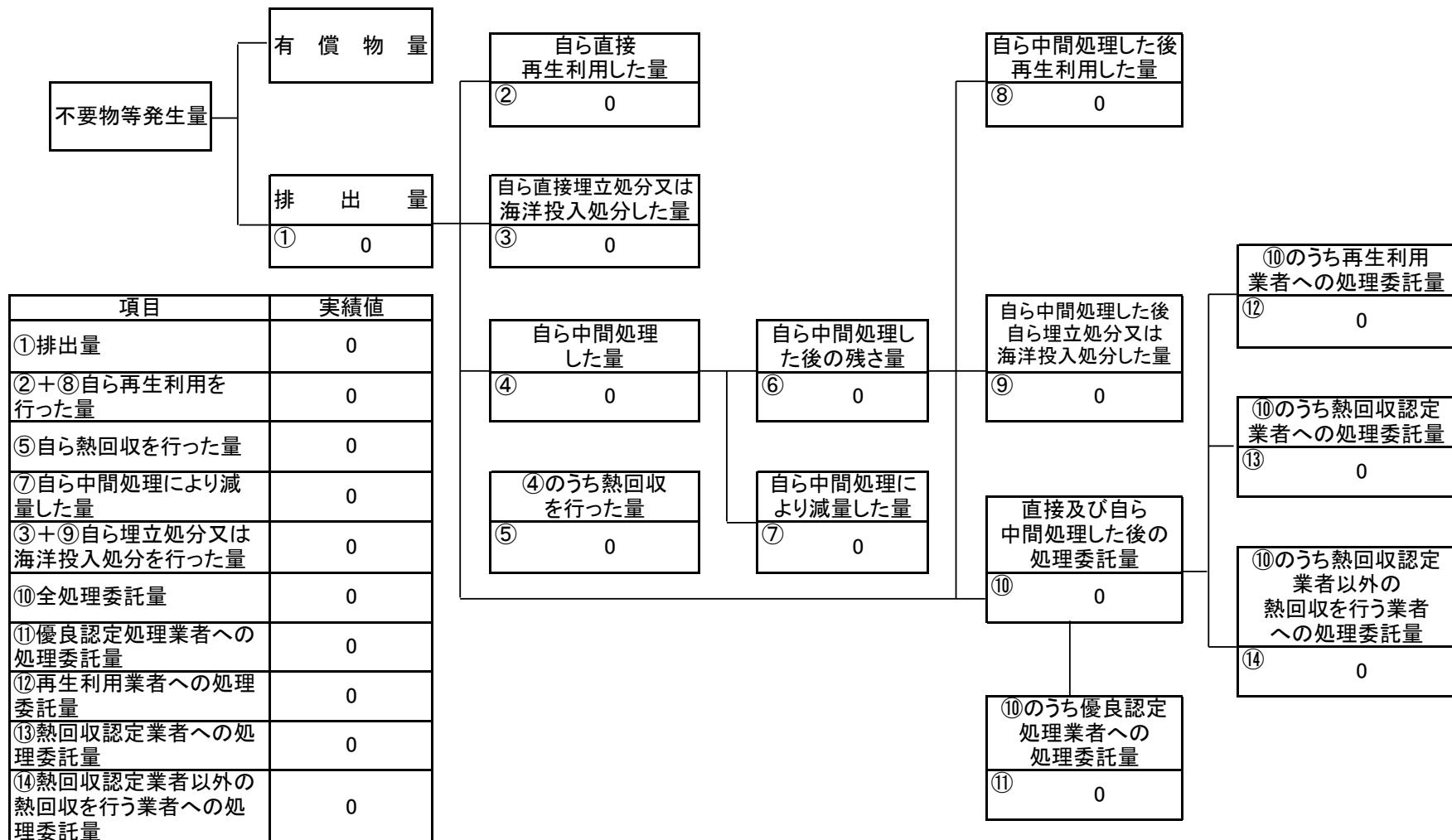
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

)

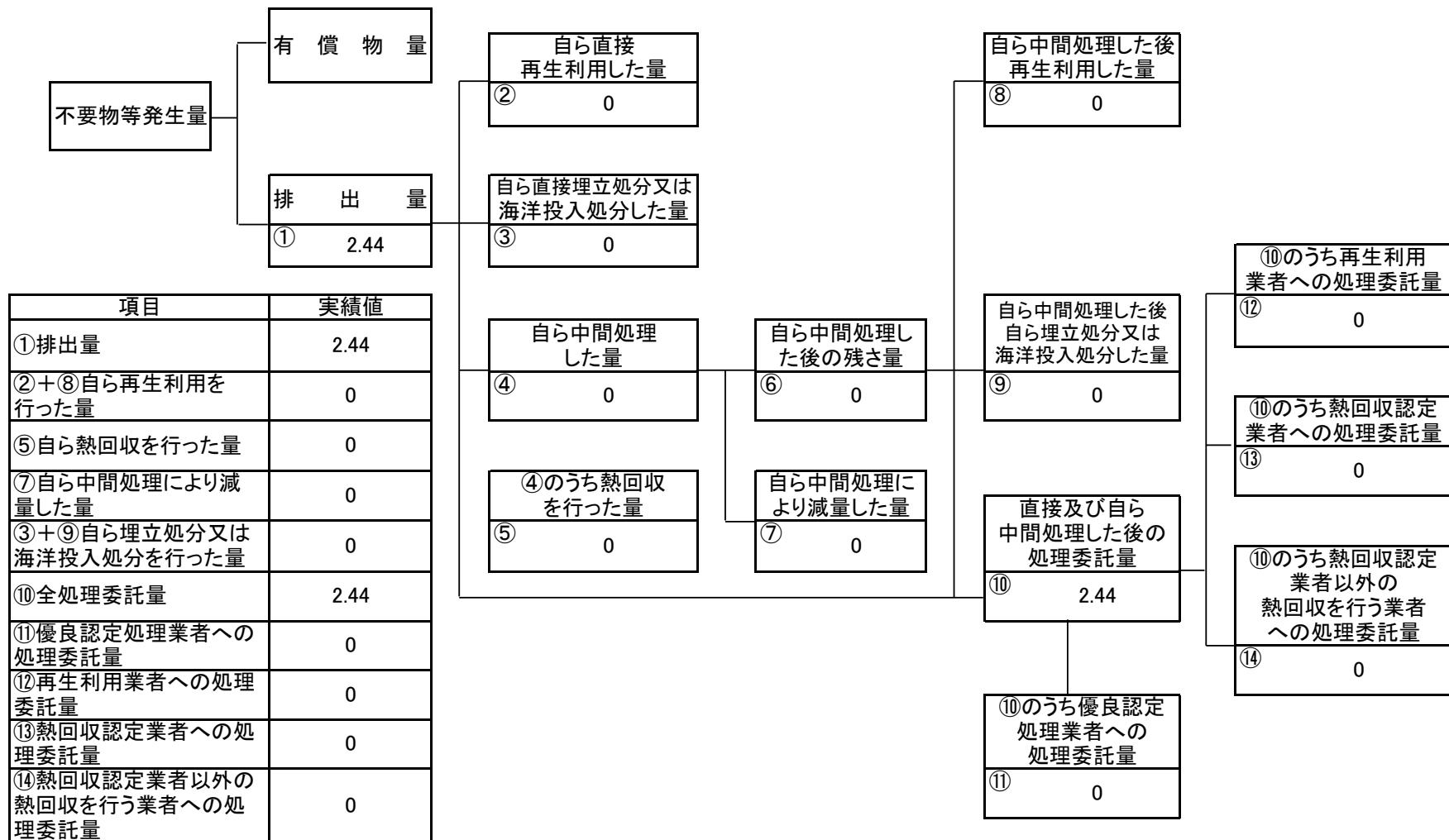
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

)

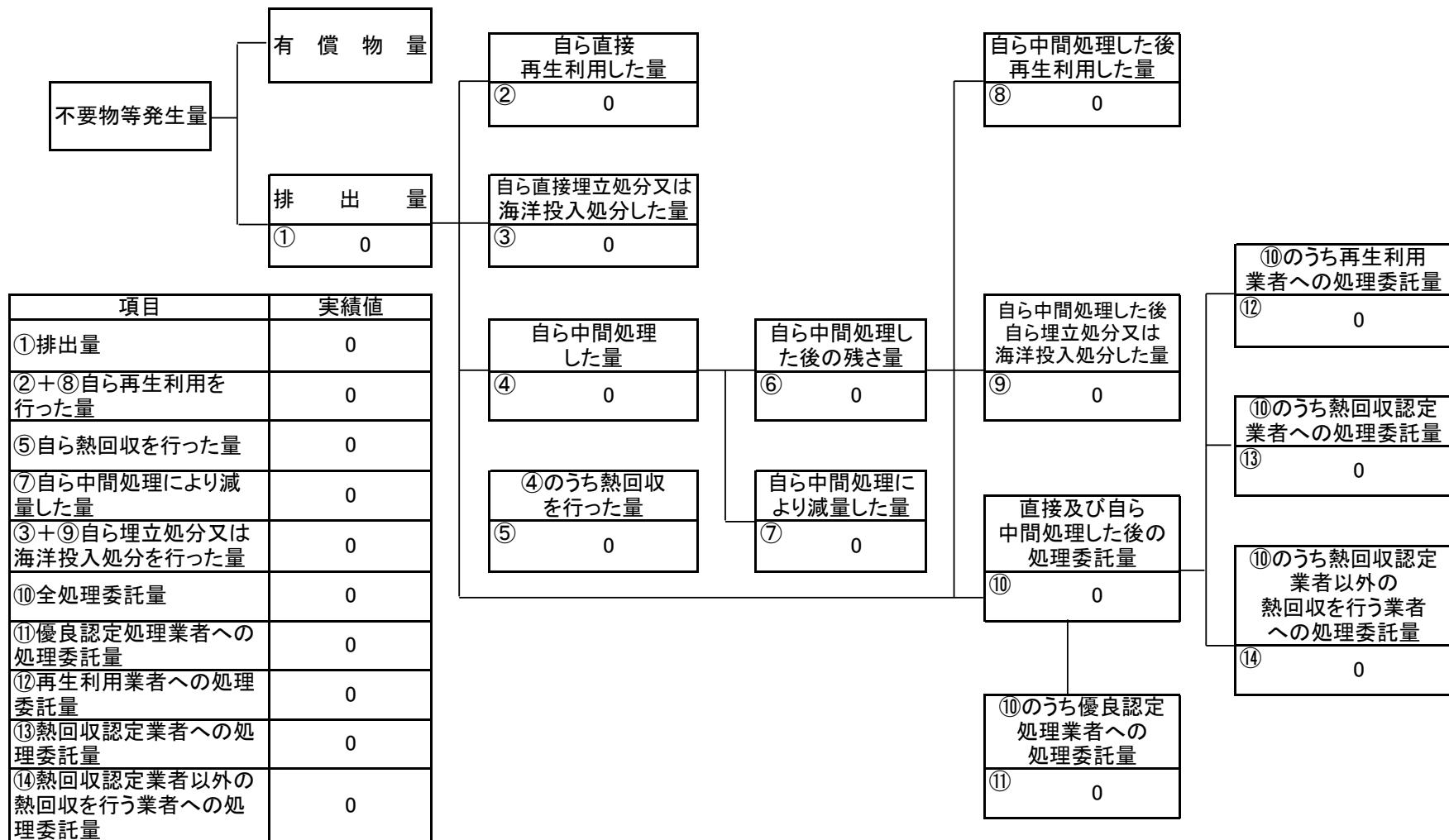


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

)



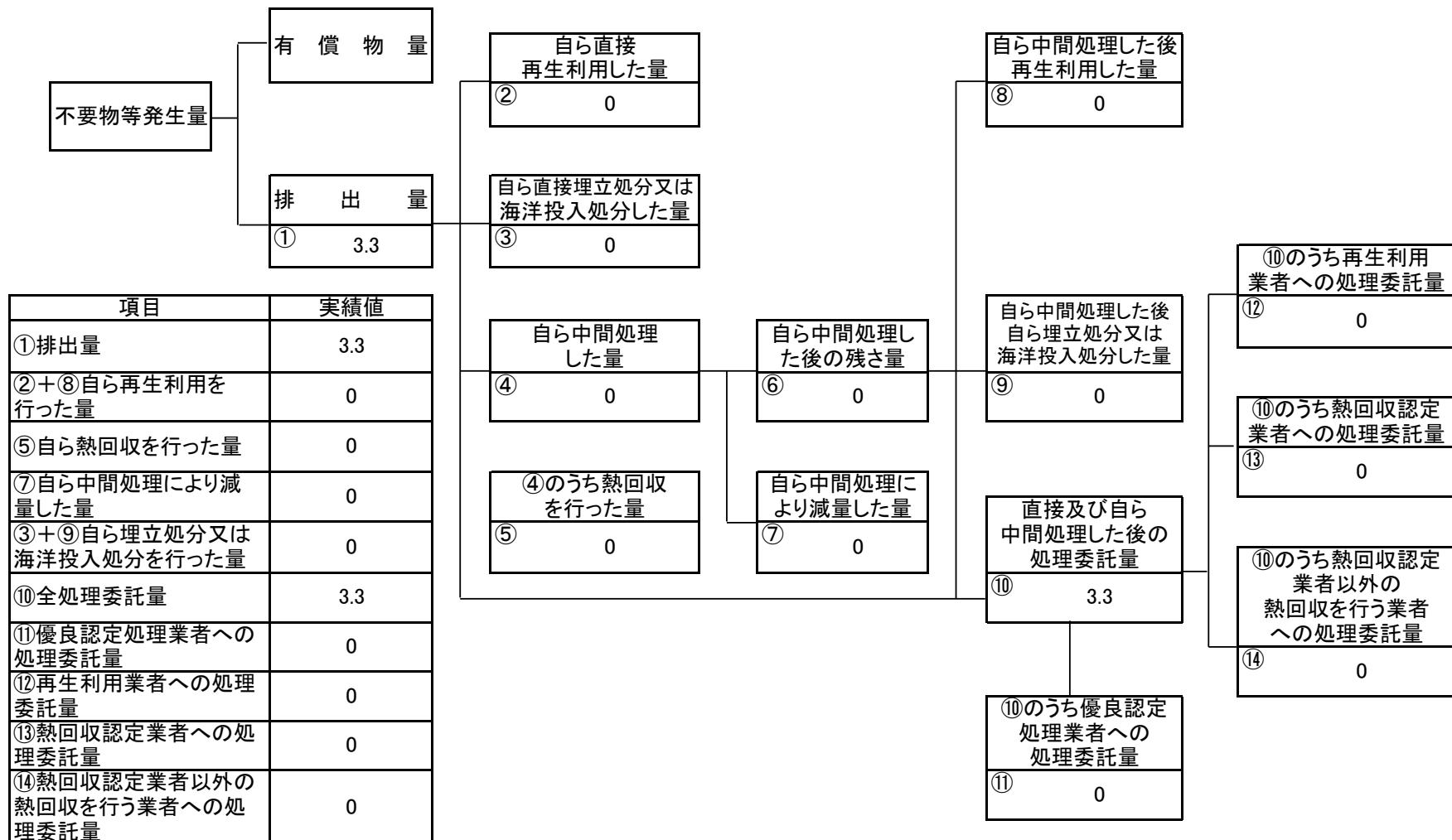
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

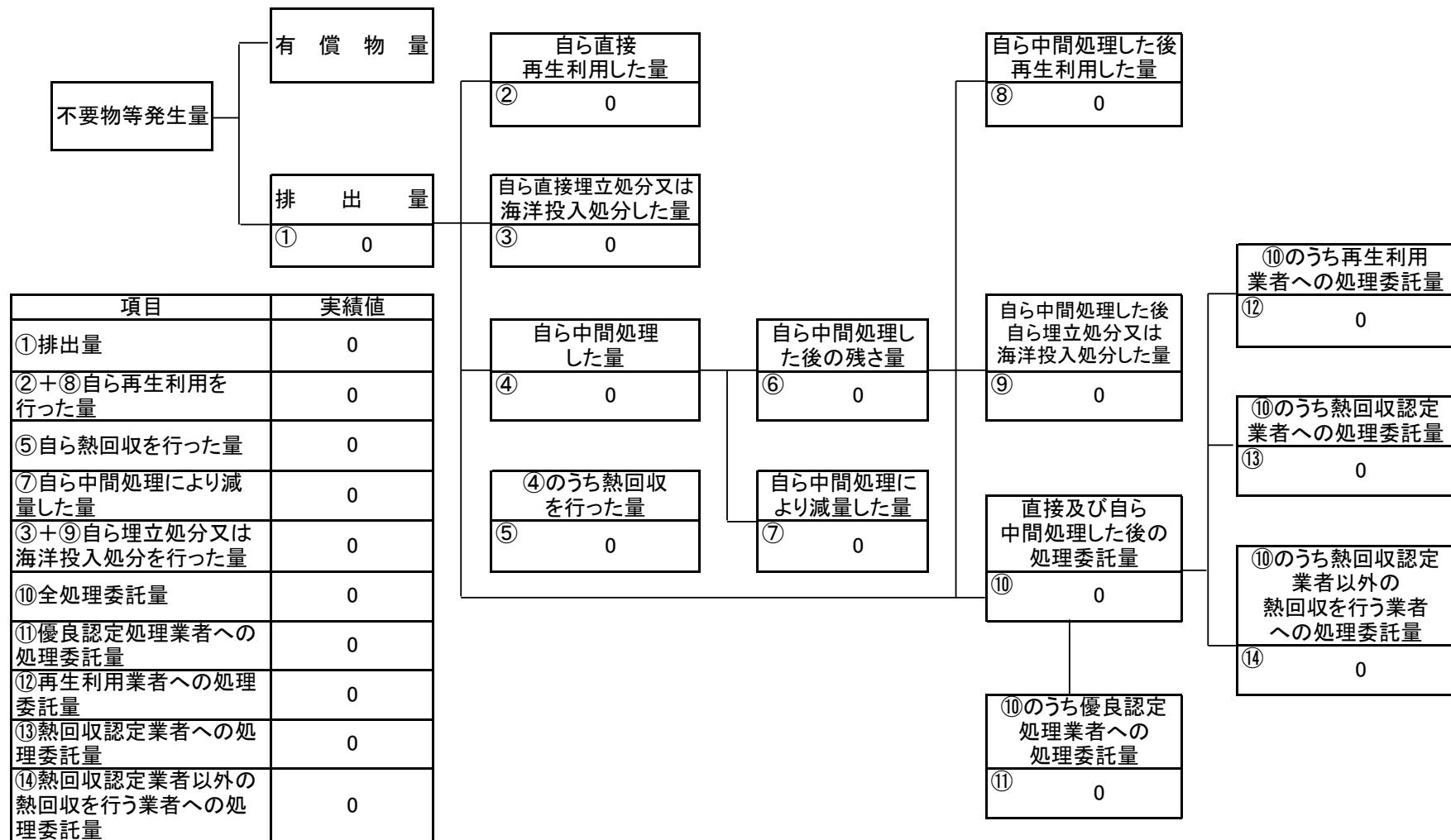
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

)

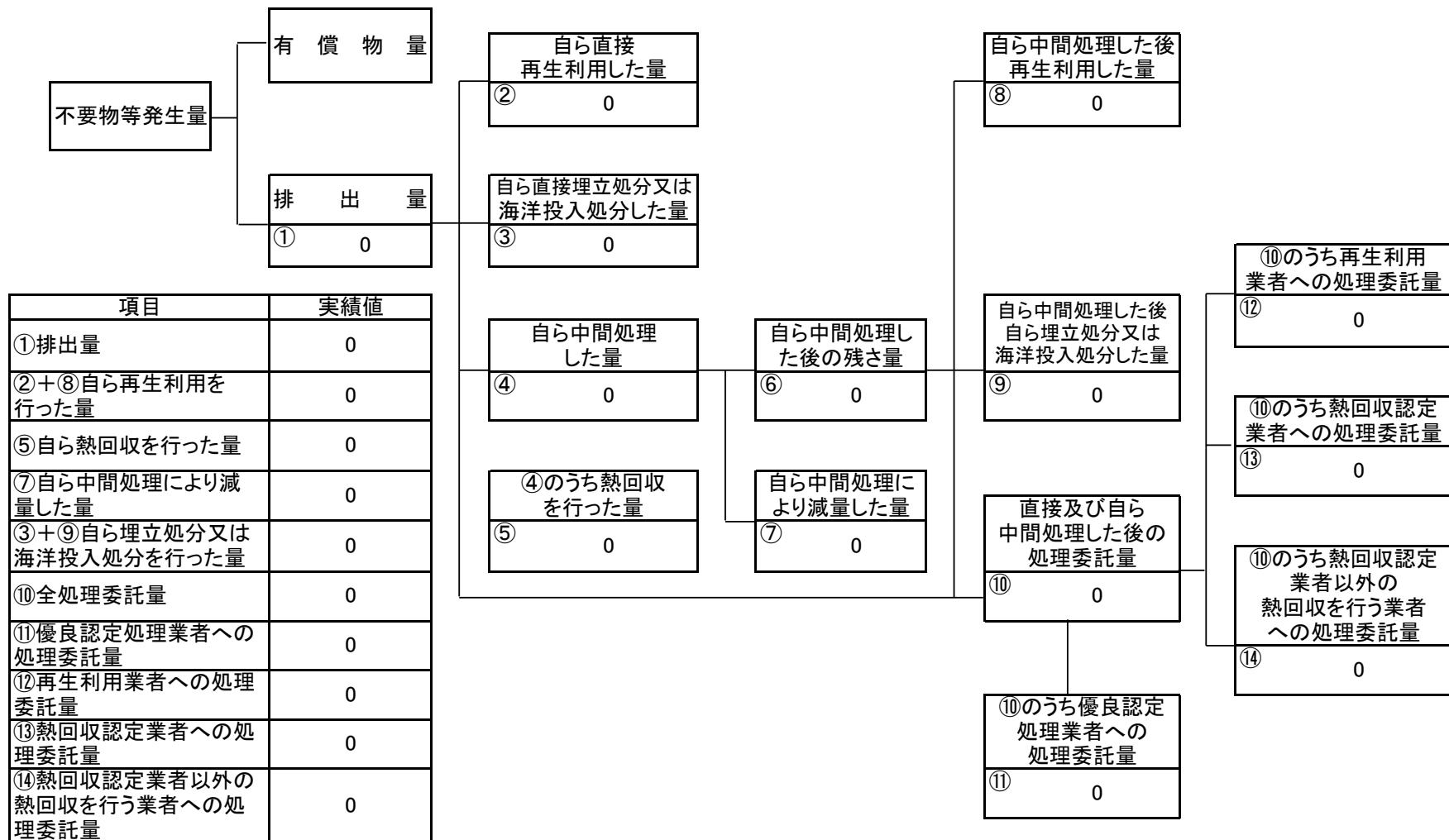


(第2面)

計画の実施状況

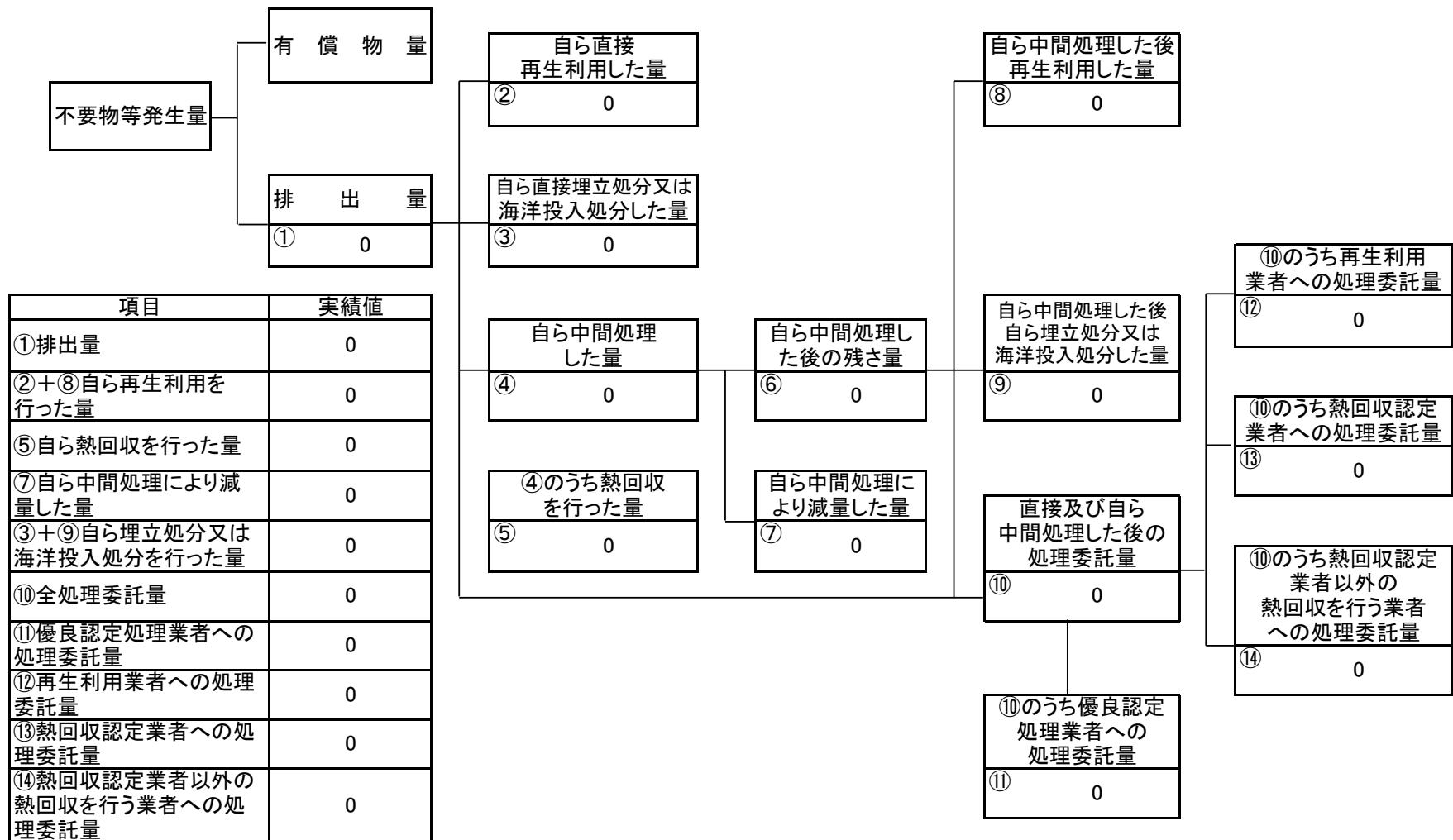
(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)

)



(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動物系固形不要物)

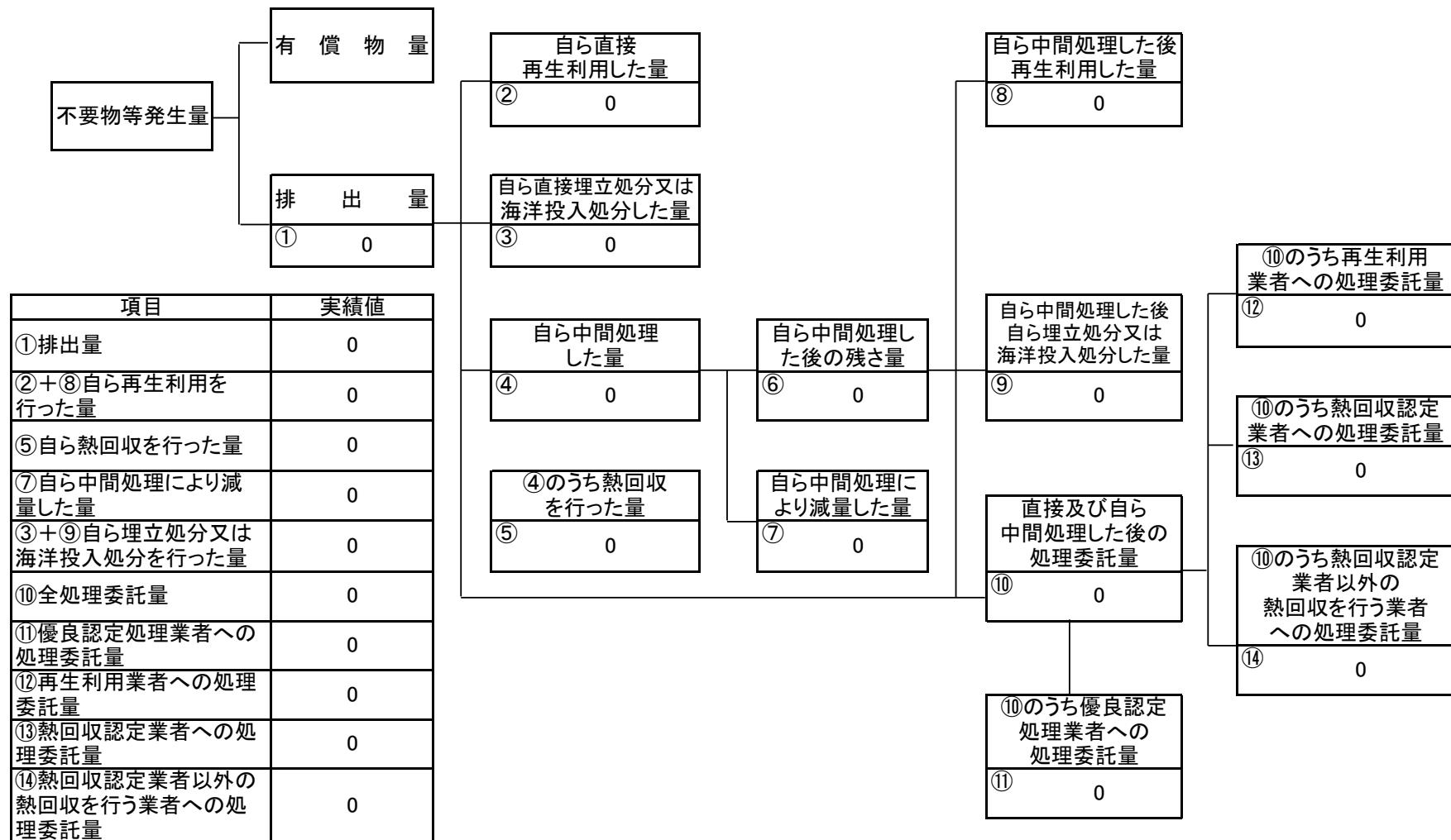


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ゴムくず)

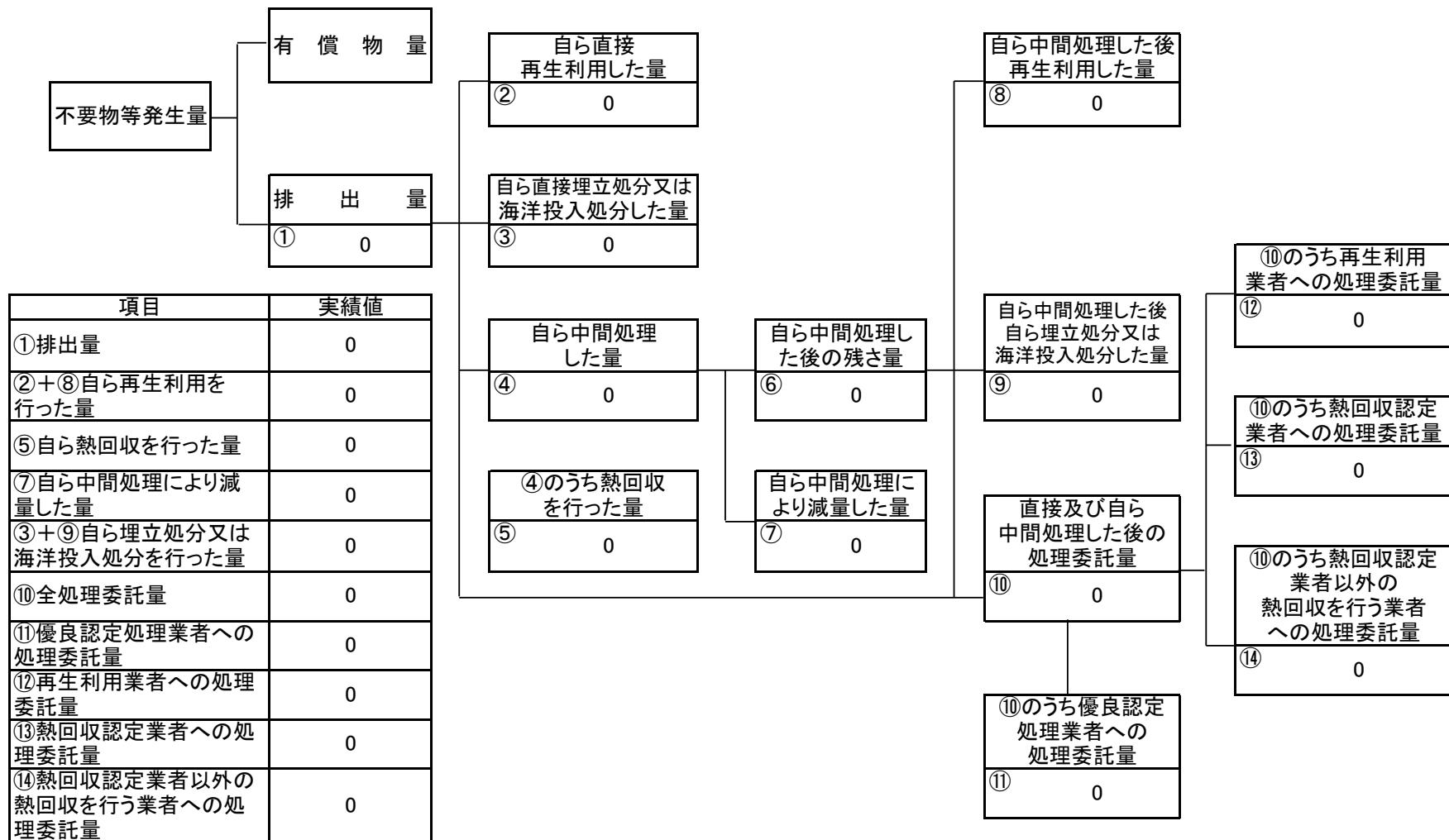
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)

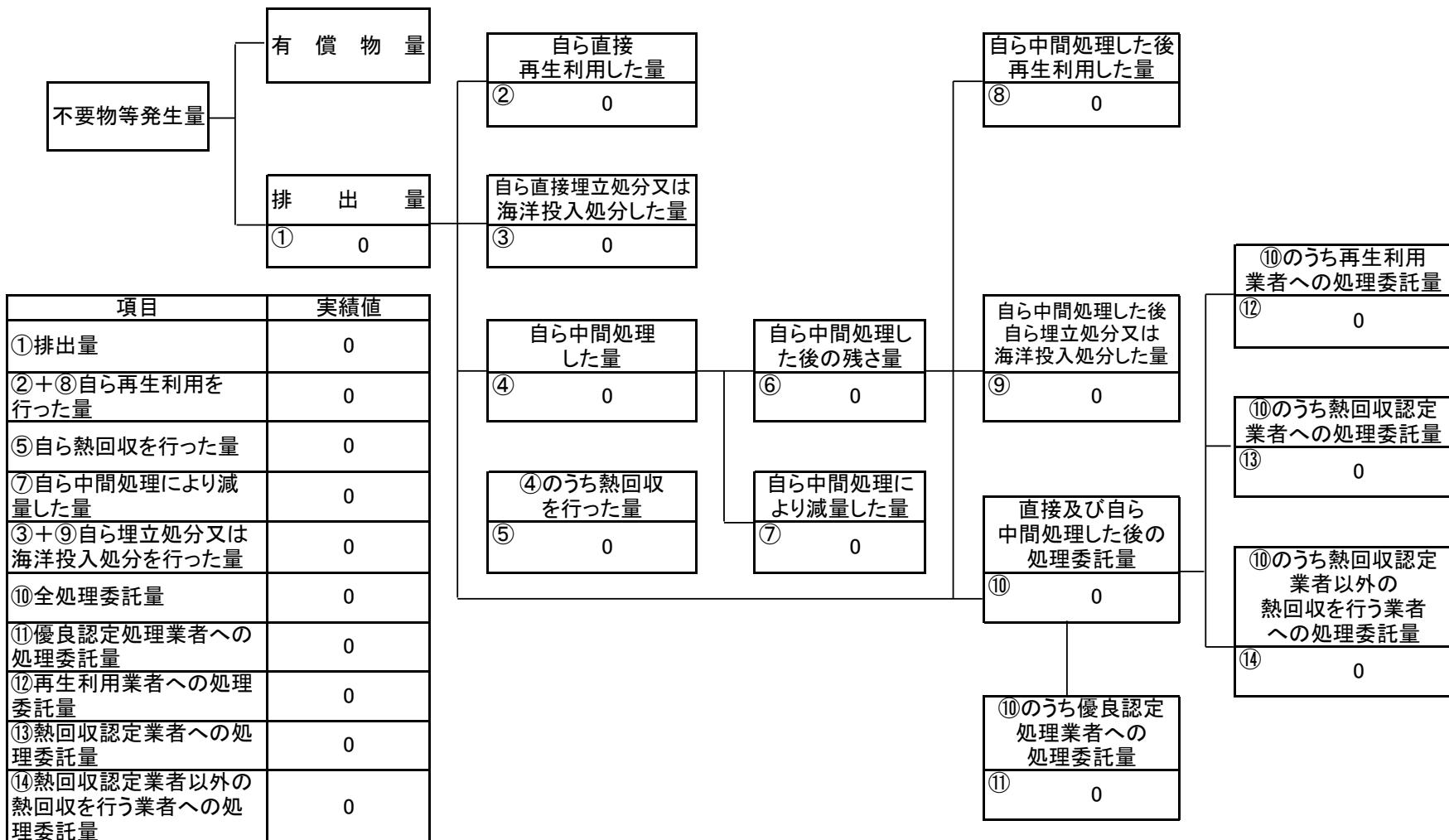


(第2面)

計画の実施状況

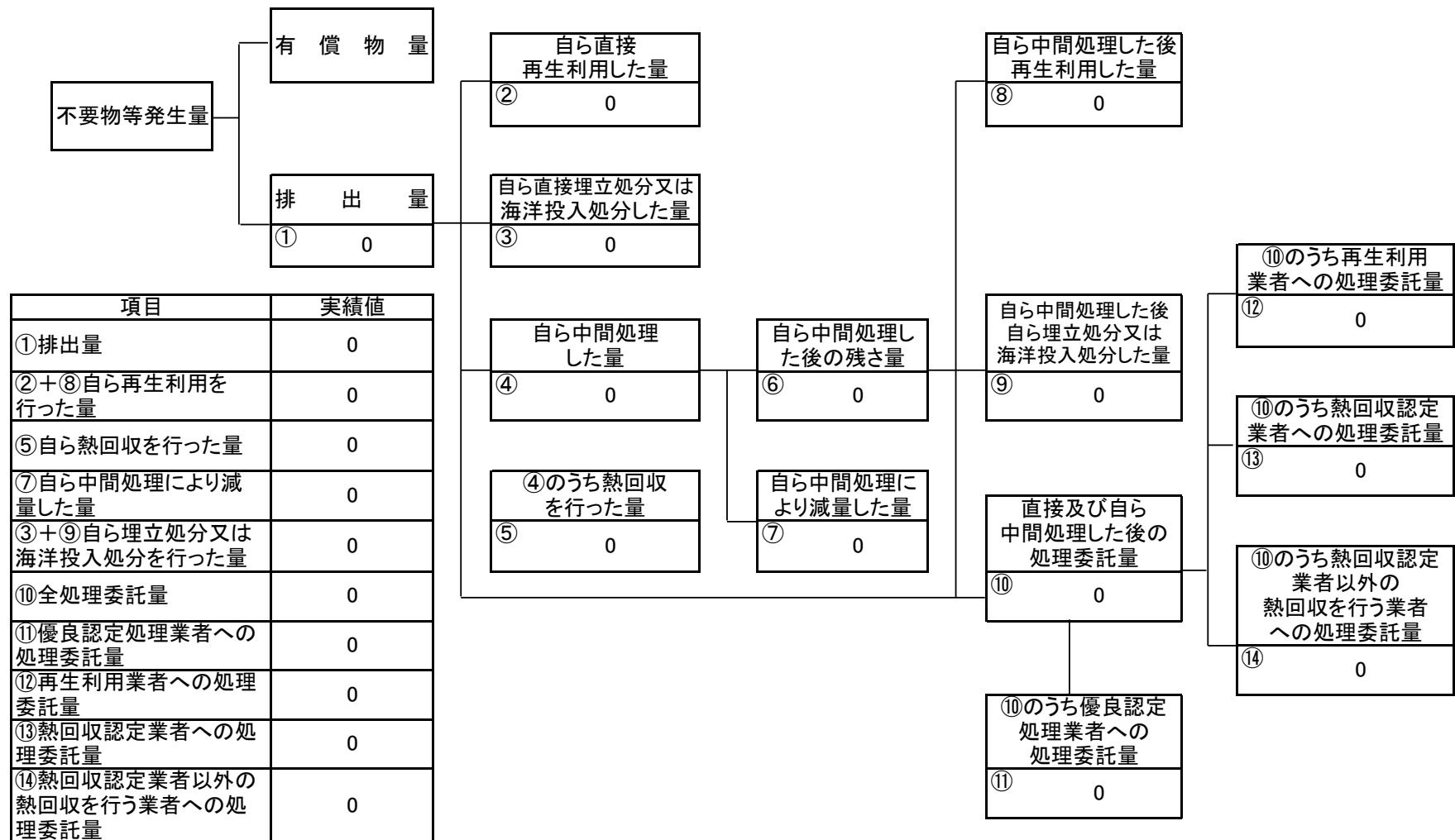
(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉱さい)

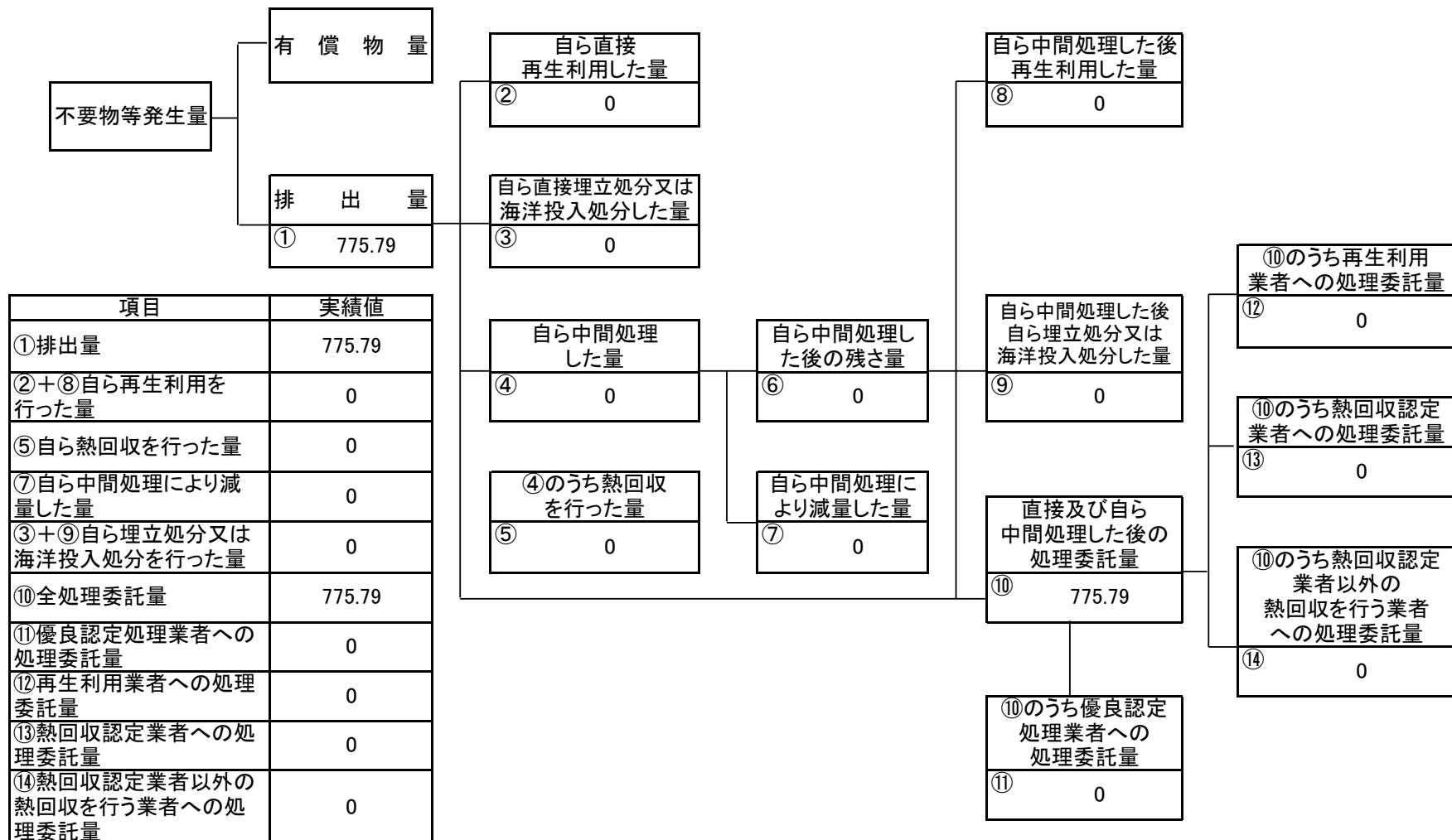


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

)

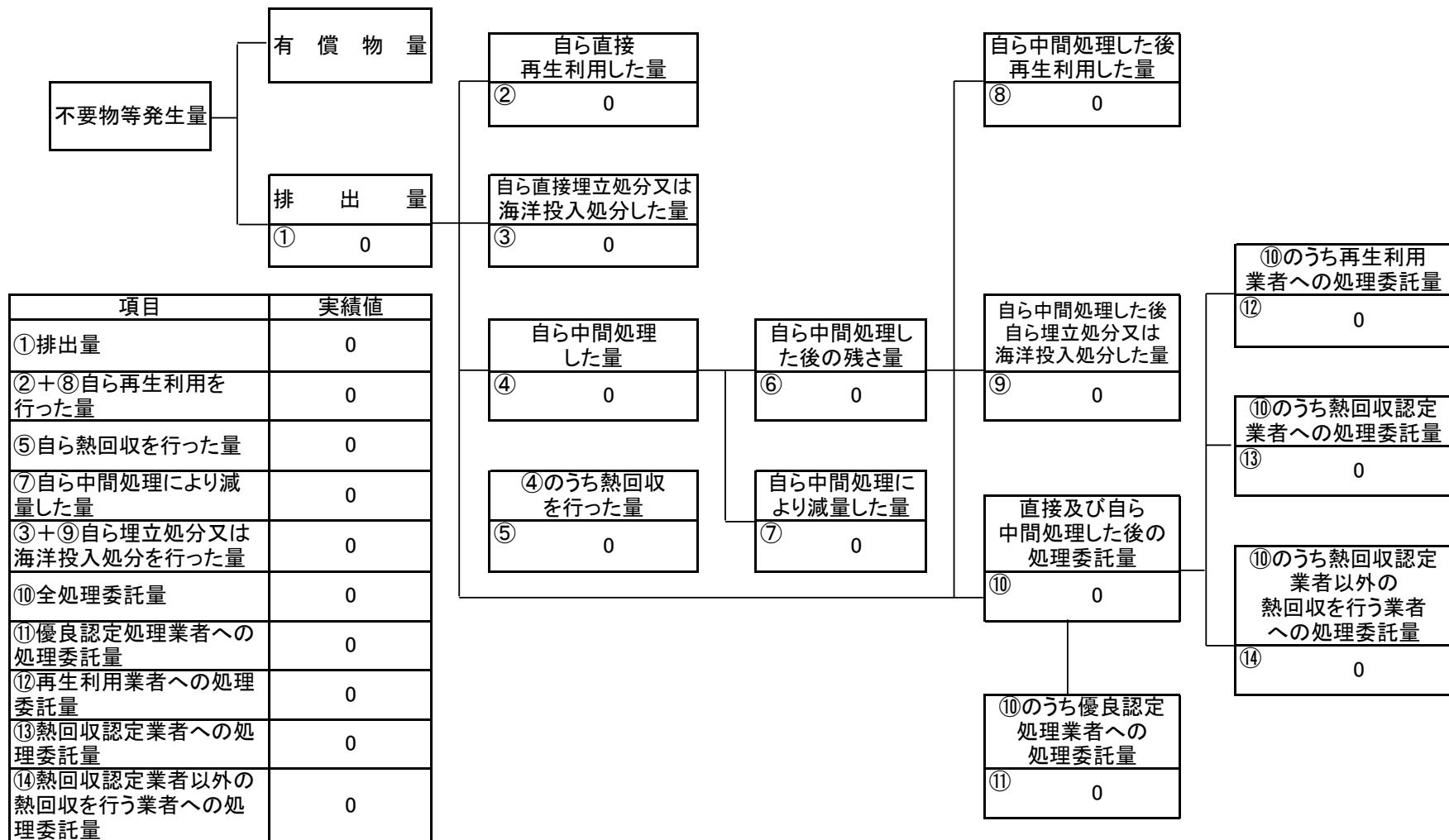


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物のふん尿)

)

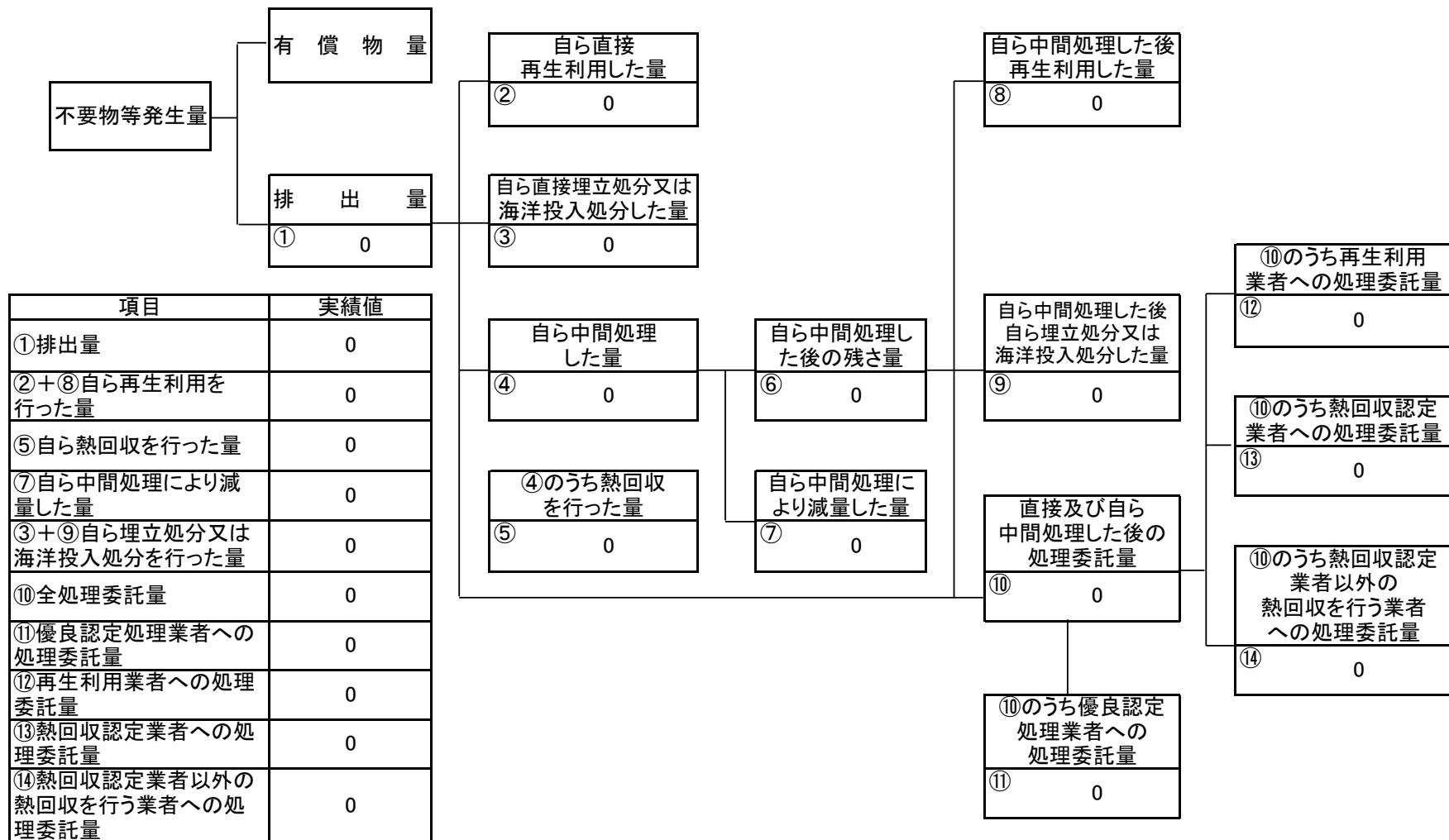


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物の死体)

)

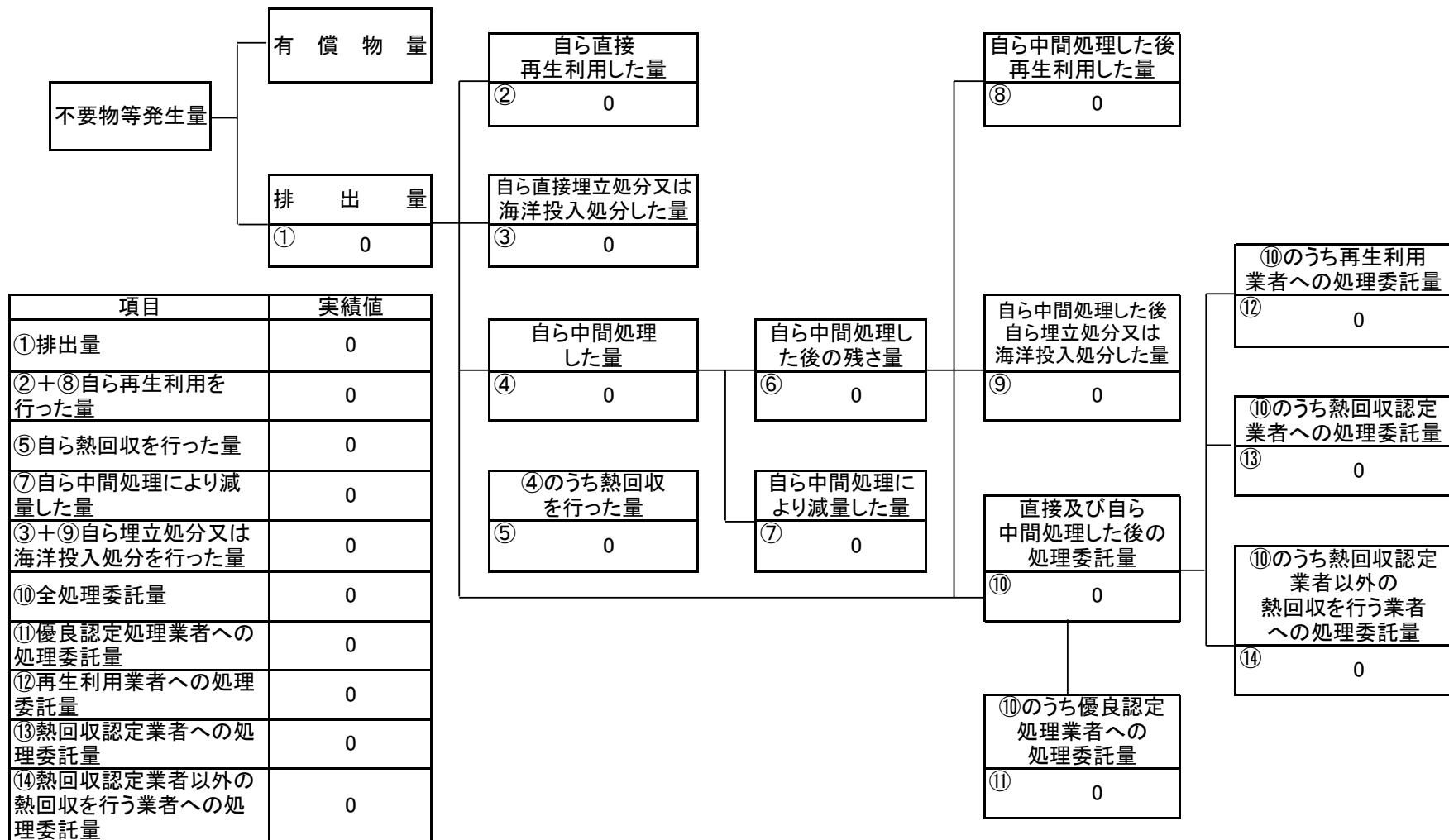


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ばいじん)

)



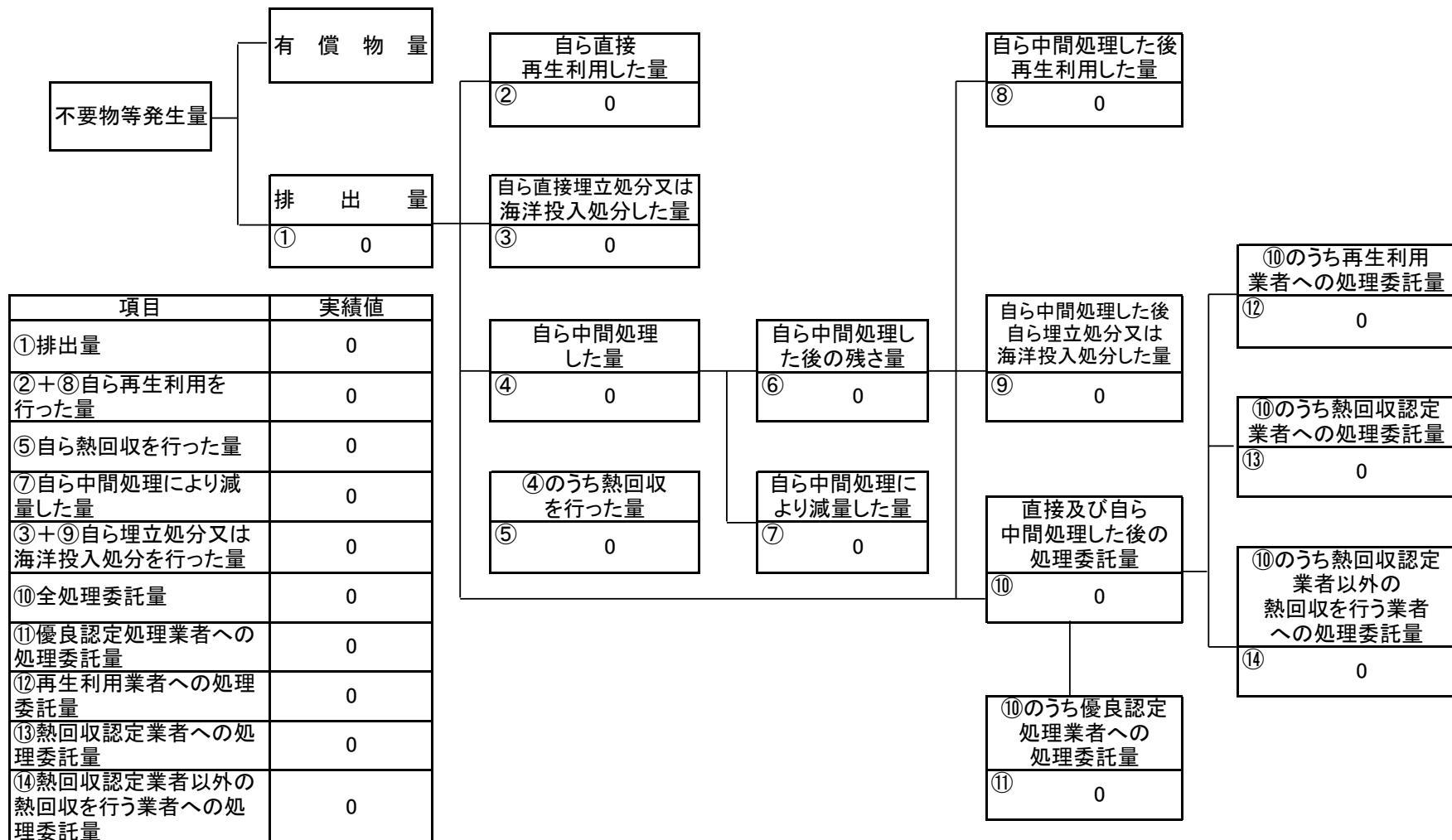
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 13号廃棄物)

)

(第二面)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載□した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。